

終夜睡眠ポリグラフィー精密検査とは

睡眠中の呼吸の状態、眠りの深さの程度、睡眠状態や睡眠と関係する行動や体の反応を、体にさまざまなセンサーを装着して記録する検査です。入院して検査を行います。

終夜睡眠ポリグラフィー精密検査で分かること

1. 睡眠深度

脳波を記録することにより、睡眠の程度（どれだけ眠れているのか、睡眠の周期はどのようであるのか）が分かります。

2. 呼吸状態

呼吸の大きさと速さを記録することにより、息が止まっていないか（無呼吸といいます）、呼吸が浅くなっていないか（低呼吸といいます）など、睡眠中に呼吸が障害されていないか評価することができます。

3. 動脈血酸素飽和度

血液中（動脈）に含まれる酸素の割合を動脈血酸素飽和度といいます。睡眠中に無呼吸や低呼吸が起こると体内に取り込む酸素の量が少なくなるため、動脈血酸素飽和度は低下します。低下の程度を調べることにより、呼吸の障害によってどの程度酸素不足になっているかを評価することができます。

4. 治療効果

無呼吸の治療のひとつとしてC-PAP（持続陽圧呼吸療法）があります。鼻や口に装着したマスクを通して、機械から空気を送り込む治療法です。通常のセンサーに加えて、C-PAP用のマスクを装着して記録することで、治療効果を判定することができます。

*自宅に機器をお持ち帰り頂き、鼻と口および指にセンサーを装着し、呼吸状態と動脈血酸素飽和度のみを記録する簡易型の検査もあります。まず自宅で簡易型の検査を行い、その結果によって入院して精密検査を行うかどうか決めることが多いです。



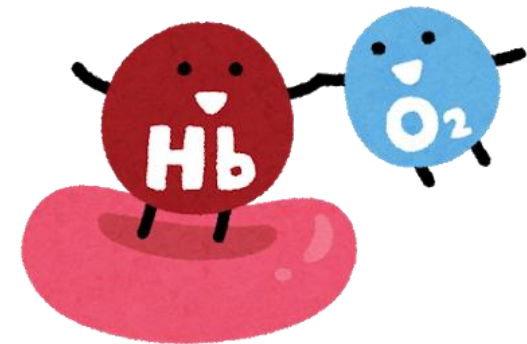
終夜睡眠ポリグラフィー精密検査のあれこれ
Q&A よくある質問にお答えします

Q：寝ている時にセンサーが外れてしまったりしませんか？

A：センサーが外れないように頭にネットを被っていただきたり、手や足に装着しているセンサーはテープで固定させていただきます。基本的には外れないと思いますが、ベッド上で起き上がったり、向きを変えたりする際はコードが絡まったり、接続部分が機器から抜けてしまわないように注意してください。また、頭のセンサーは大量の汗をかくと外れやすくなるため、検査時は空調を調節してください。

Q：夜中にトイレに行きたくなくなった場合はどうすればよいですか？

A：基本的にベッドサイドで、尿瓶や簡易トイレを使用させていただきます。たくさんのセンサーが体に装着されているため、ベッドから起き上がったり、ベッドに腰掛ける際は看護師を呼んでください。コードが絡まったり、接続部分が機器から抜けたりしないよう、お手伝いさせていただきます。



近畿大学医学部奈良病院 臨床検査部